

技あり関西

すそ野からの挑戦



リサイクル肥料を高菜に散布
(福岡県椎田町で、提供写真)

談 ホームページを開設、商社にも持ち込んだ。薬剤は密閉された状態で返ってくるか

—売ると言っても大変だったでしょう。

談 技術に一年、肥料登録にもう一年かかった。消火器は総務省、肥料は農水省と管轄が違つ。農水省からは前例のない薬剤の粉ということ、安全性について、いろんな試験を要

—その方法で特許を取られたのですね。すぐに商品化できたのですか。

しかし、口で言うほど簡単でない。機械のメーカーに頼み込んで、すりこぎの要領で粒同士をすり合わせて削る機械を作ってもらった。それで削った粉をビーカーの水に混ぜると、それまでは上に浮いたままだったのがきれいに溶けて、濃いピンク色の水になった。感激だった。

* やつと登録 感激の晩酌

二〇〇二年十月、農水省の事務所で「副産物複合肥料モリタ一号」の登録書をもらったときはうれしかった。社長からは直接、よかったと電話があった。その晩のビールはうまかったね。

ら、リサイクルといっても品質はいいし、安い。だから引き合いがどんどん来た。現在三社と契約し、年間千トを肥料原料として出荷している。

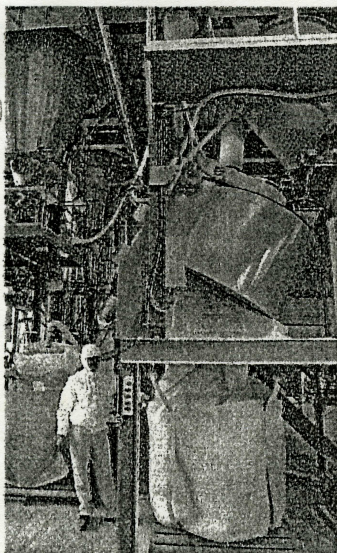
これだけ捨てたら、3200万円かかる。コスト削減でき、なおかつ利益が出る。

福岡県椎田町で昨年はレタスと高菜を栽培、今年は米作も行う。北海道では牛ふんで発電した後、残ったふんにモリタ一号を混ぜて牧草にまいている。



消火器の中には超微粉の消火薬剤が入っている

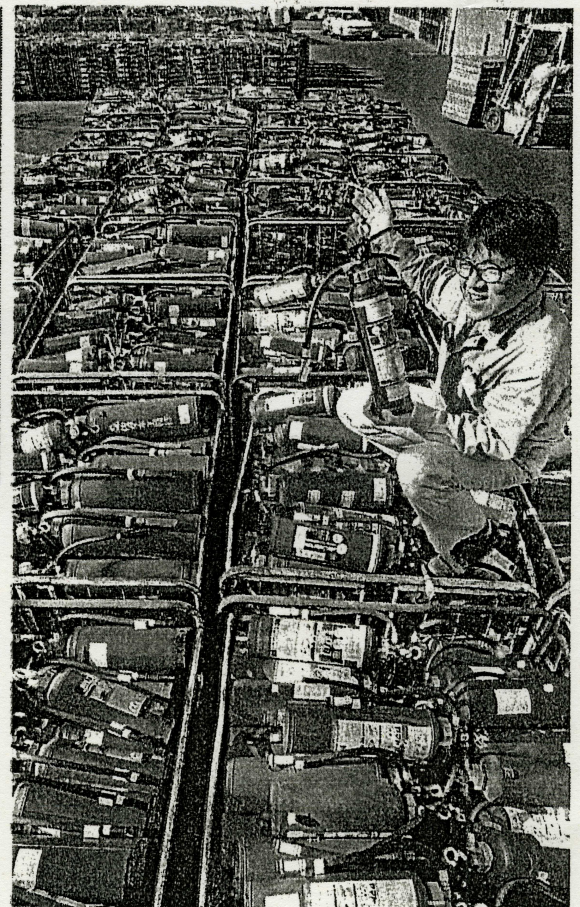
ミキサーのような機械で消火薬剤の表面を削る



—大学では化学を専攻されたんですよね。

談 違う分野に行つてオンラインワンになりたいと思つて入社した。モリタには消防車のプロはたくさんいる。機械は分

リサイクルのため回収された古い消火器。坂本さんは主成分のリンを肥料に再生(三重県上野市のモリタ上野工場)



農業分野に大貢献

福岡県椎田町有機液肥固形堆肥利用者協議会 田中 祐輔さん

リサイクル肥料と聞いて、これはいいことだと思った。町のバキュームカーもモリタ製。縁もある。今、200畝の農地の一部で試験的に液肥に

混ぜば、国337の坂のきくむと型破りて

* 昨年4月から 社会人入学

昨年四月から帯広畜産大学大学院の環境科学科に社会人入学した。トップももっと勉強しろと後押ししてくれたので、また月に十日間程度北海道に通っている。

正直めちゃくちゃ忙しいけれども、大学行つても仕事で携帯鳴るし、メールが来るし。それでも楽しい。家庭崩壊に近いが、休日には妻と二人の子もと食卓で一緒に勉強する。先白ボウリングに連れていったら、学割でワンゲイム五十円引きだった。

聞き手 野間 裕子
写真 大塚 直樹